

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2013.4.15 No.163 連絡先 FAX 042-555-1911



2つのパラシュートを使った投下訓練が横田でも

4月9日、横田基地では午後から、C-130Hが2機で飛行訓練をはじめ、特に隊長機(36AS 白影)は急旋回を繰り返し、大きな箱をパラシュート投下(左写真)。飛行訓練は夜9時過ぎまで続きました。

4月10日午後は、横田基地のC-130Hが3機編隊で南の方へ向かい、50分ほどして北側から3機編隊でローパスしながら、先頭の機体から、パラシュートで荷物を投下しました。この後も3機編隊で夕暮れ時まで、タッチアンドゴー訓練等を繰り返していました。



モザンビークのパンゲーネさんが横田基地を視察

日本 AALA 連帯委員会が招待したアフリカ民族の解放戦士、モザンビークのアルマンド・パンゲーネ氏が4月4日、横田基地視察に来られました。パンゲーネさんは、1942年生まれの70歳。モザンビーク解放戦線の中央委員など独立戦争の先頭に立ち、独立後は最初の外交次官や、宗主国ポルトガル大使、英国大使など歴任された方です。

パンゲーネさんは、「日本は米軍基地がある限り本当の独立国とは言えませんね」と言っていました。(昼食時懇談、自国の闘いや家族の話をするパンゲーネさん。写真提供は三多摩 AALA)

4月21日 横田基地に軽飛行機41機 関東航空機空中衝突防止会議で

関東航空機空中衝突防止会議について、防衛省(北関東防衛局)から自治体に情報提供がありました。情報提供の内容は、【開催日】平成25年4月21日(日)、【場所】横田基地、【概要】横田基地の軍人ほか、日本のパイロット、航空事業関係者等が出席し、航空機の安全飛行について協議、理解を深める会議、【会議に伴い飛来する民間航空機】41機(予定)、【離着陸予定時間】(着陸)午前8時30分から午前10時45分頃(離陸)午後3時から午後4時30分頃、です。

福岡県警 飲食店で財布盗んだ横田基地の米兵を 窃盗容疑で逮捕

報道によると、福岡県警中央署が4月13日(土)、米軍横田基地の米兵カールソン・ビクター容疑者(26)を窃盗容疑で現行犯逮捕しました。ビクター容疑者は同日午前2時半頃、福岡市の飲食店で、客の女性(41)の手提げバッグの中から現金4,320円などが入った財布を抜き取った疑い。

女性がトイレから戻り、ビクター容疑者のズボンのポケットに自分の財布が入っているのに気付いて取り返し、店の従業員が110番。ビクター容疑者は休暇中でした。

沖縄の米海兵隊員も 酒気帯び追突事故で逮捕

沖縄県警沖縄署は4月12日、米海兵隊キャンプ瑞慶覧(ずけらん)所属の3等軍曹チャールズ・ブラウン容疑者(27)を道交法違反(酒気帯び運転)容疑で現行犯逮捕しました。北中城村の県道交差点で、酒気を帯びた状態で乗用車を運転し、信号待ちの女性(27)の車に追突。女性にけがはありませんでした。駆けつけた署員が飲酒検知したところ、ブラウン容疑者の呼気1リットル中、約0.69mgのアルコール分が検出されました。

酒気帯び運転は、0.15mg以上で違反点数13点、0.25mg以上で違反点数25点です。

沖縄 県民世論調査 辺野古移設に「反対」が74.7% (No. 163 の裏面)

沖縄タイムス社と琉球朝日放送が実施した沖縄県民世論調査で、辺野古移設に「反対」が74.7%に達し、昨年4月に行った世論調査より約8ポイント増えました。「賛成」は15.0%で、昨年より約6ポイント減少しています。移設先としては「国外」37.2%、「沖縄以外の日本国内」33.4%と続き、「移設ではなく閉鎖」も15.4%を占めており、「県内」と答えたのは12.6%です。調査は、政府が3月22日に辺野古沿岸部の公有水面埋め立ての承認申請書を県に提出した直後に実施。

沖縄タイムス4月13日の社説は、「政府は、口を開けば沖縄の『負担軽減』に言及する。辺野古移設が本当に負担軽減につながると県民が考えているのならば、こんな数字は出てこないはずである。」「数字の持つ意味は重い。」「県内41市町村の全首長が辺野古移設に反対しているのが現状だ。」「民意を無視した『負担軽減』はあり得ないのである。」と述べています。

さらに、「安倍内閣で普天間問題を仕切る菅義偉官房長官の政治の師で、沖縄との関わりが深かった故梶山静六官房長官に『日米安保と沖縄』と題する未発表の論文がある。」「梶山氏は論文で、『特定の地域、特定の県民だけが国益のために負担を過度に負うことは、民主主義の原理に違背する』『日米安保条約の効果的な運用のためには、沖縄県民の理解と協力が不可欠であり、沖縄県民不在の日米安保体制はあり得ない』との認識を示している。」「故橋本龍太郎首相も『地元の頭越しには進めない』と約束した。安倍政権は、この最低限の原則さえ放棄しようとしている。沖縄が切り離された52年4月28日を『主権回復の日』として政府主催の式典を開催することに端的に表れている。」と沖縄県民の怒りをこめた社説です。本土の大手紙はどうだったのでしょうか。

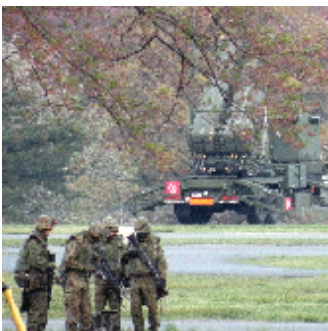
辺野古新基地建設前提の 嘉手納以南「統合計画」を日米合意

4月5日、沖縄本島の嘉手納基地以南の6基地「統合計画」を、安倍晋三首相とルース駐日米大使が共同発表しました。米海兵隊普天間基地「返還」は、沖縄県名護市辺野古の新基地を「2022年度」までに建設することを前提にしています。

統合計画は、普天間基地の「返還可能」な時期について「22年度」「又はその後」とのただし書きをつけています。これ以外の基地についても、大半が「移設条件付き」というたらい回しのうえ、その「返還可能」な時期も、2013～28年度にかけて段階的とし、すべて「又はその後」とのただし書き付きです。日本政府の資料は、「時期及び年は…返還される最善のケースの見込み」であり、「遅延する場合がある」としており、負担軽減にならない、ごまかしの計画です。

埋め立て申請 沖縄県 33件補正要求 土砂、明確な記述なし

沖縄県は4月12日、普天間基地の名護市辺野古移設に向けて沖縄防衛局が提出した埋め立て承認申請書について、記述の不足部分など13項目計33件の補正を同局に求めました。県はこれまで埋め立てに使う土砂の採取場所や量、搬入経路などの明示を求めていましたが、防衛局は申請書に「沖縄、九州、瀬戸内海」とのみ表記し、市町村など具体的に記述していませんでした。県は6月11日までの回答を求めています。補正内容はホームページで公開しています。



北朝鮮の弾道ミサイルに対する「破壊措置命令」

小野寺五典防衛相は、北朝鮮による中距離弾道ミサイル「ムスダン」(射程2,500～4,000km)発射の動きに関し、7日、自衛隊に破壊措置命令を発令しました。これに基づき防衛省は4月9日未明から、航空自衛隊の地对空誘導弾パトリオット(PAC3)を市ヶ谷の防衛省や、朝霞、習志野に展開させました。発射したら撃ち落とすのではなく、平和的な解決はできないのでしょうか。(朝霞に搬入されたPAC3、写真提供：練馬平和委員会)